

みんなのなりた

NO. 91 2018年5月1日

発行／成田市議会
編集／成田市議会広報広聴委員会
〒286-8585 成田市花崎町760
Tel 0476-20-1570(直通)
Fax 0476-24-0336

平成30年3月定例会



主な内容

- | | |
|--------------|----------------|
| 2 3月定例会ハイライト | 8 一般質問 |
| 3 委員会審査レポート | 14 高校生との意見交換会 |
| 5 予算特別委員会 | 16 平成29年度の行政視察 |
| 6 議案と審議結果一覧 | 16 コーヒータイム |

「高校生との意見交換会」

平成30年3月26日に開催された成田市議会と高校生との意見交換会。市内高校生25名と、和やかな雰囲気ながらも熱の入った意見がかわされました。⇒詳しくは14ページ

成田市議会からのメッセージ

定例会審議から、くらしにかかわる可決議案、報告などをピックアップします

3月定例会ハイライト 予算議案を含む45議案を可決・同意

国民健康保険条例及び国民健康保険税条例の一部改正や中小企業資金融資条例の一部改正など

平成30年3月定例会は、2月23日に招集され3月22日まで28日間の会期で開催しました。定例会の初日には、39議案が上程され、そのうち1議案を可決し、2月28日には、新年度予算を審査する予算特別委員会を新たに設置しました。

一般質問は、2月28日から4日間、各会派の代表質問と個人質問で18人の議員が登壇して行い、3月5日には5議案を同意しました。3月6日からは各常任委員会、特別委員会を開催しました。

3月16日には、補正予算など追加議案6件が上程されました。最終日には、議案39件を原案どおり可決し、また、請願2件を不採択とし、閉会しました。

【3月定例会の日程】

月 日	内 容
2月23日(金)	本会議(開会、会期の決定、全議案一括上程)
28日(水)	本会議(代表質問)、予算特別委員会
3月 1日(木)	本会議(一般質問)
2日(金)	本会議(一般質問)
5日(月)	本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託)
6日(火)	空港対策特別委員会、教育民生常任委員会
7日(水)	新市場整備・輸出拠点化等調査特別委員会、経済環境常任委員会
8日(木)	建設水道常任委員会
9日(金)	総務常任委員会
12日(月)	予算特別委員会
13日(火)	予算特別委員会
14日(水)	予算特別委員会
16日(金)	本会議(議案上程)
22日(木)	本会議(会議録署名議員指名、議案・請願審議、閉会)

予算



設置されるホームドアのイメージ

3日間にわたる委員会下 平成30年度予算を審査

3日間にわたる予算特別委員会で平成30年度予算を審査しました。総務費の審査では、鉄道駅バリアフリー化事業の質疑がされました。東京オリンピック・パラリンピックに向けた環境整備のため、成田空港駅と空港第2ビル駅へのホームドア設置に対し補助を行い、駅ホームの安全性の向上が図られます。(予算特別委員会)

新市場整備等に関する 調査を閉会中も実施

市場



市場関係者との新市場整備等に関する懇談会

新市場整備・輸出拠点化等調査特別委員会では、閉会中に委員会を3回開催し、新市場整備等について精力的に調査するとともに、市場関係者との懇談会の開催や農林水産省、千葉県への要望活動を行いました。

(新市場整備・輸出拠点化等調査特別委員会)
(詳しくは4ページ)

委員会審査レポート



※本会議で委員会に付託された主な議案と審査内容の概要を要約して紹介します。

総務常任委員会

一般会計補正予算、市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

議案8件を可決しました。所管事務について7件の報告を受けました。

決算見込みに基づく事業費精査により、鉄道施設等耐震化推進事業や地域型保育給付事業を減額するなど、歳入歳出それぞれ5億9214万2千円を減額する一般会計補正予算を審査しました。

市職員の勤務時間、休暇等に関する条例が一部改正され、育児や介護を行う職員の早出遅出勤務制度が導入されました。職員の仕事と家庭の両立支援がさらに推進されます。

経済環境常任委員会

中小企業資金融資条例の一部改正、都市公園条例の一部改正

議案3件を可決しました。所管事務について9件の報告を受けました。

中小企業庁の定める小口零細企業保証制度要綱の一部が改正されたことから、小口零細企業保証制度事業資金の融資限度額の引き上げなどの改正を行います。これまで一般事業資金を利用していた事業者のうち、20件から30件程度が、より利用しやすい小口零細企業制度事業資金へ移ると見込まれます。

都市公園条例の一部改正は、都市公園法施行令の一部改正に伴って、新たに運動施設の敷地面積の割合を定めるとともに、冷暖房設備の整備により中台運動公園体育館の利用料金の変更をするものです。



中台運動公園

教育民生常任委員会

介護保険特別会計補正予算、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

議案10件を可決し、請願2件を不採択としました。所管事務について、3件の報告を受けました。

介護保険特別会計補正予算は、一般会計繰入金や介護サービス等諸費など、予算総額から歳入歳出それぞれ6億2549万9千円を減額するものです。隣接市で計画されていた介護老人保健施設や公津地区で進められていた小規模多機能型居宅介護事業所の開設が遅れたため、介護サービス給付費の支給が少なくなったこと、要支援・要介護認定者数が見込みより少なかったことが主な理由です。

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例が一部改正され、受給資格の確認手続が簡素化されます。

建設水道常任委員会

地区計画^(注1)の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正、市道路線の廃止および認定

議案7件を可決しました。所管事務について4件の報告を受けました。

地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正は、平成29年10月に成田市計画大学医学部付属病院地区地区計画の変更が都市計画決定されたことから、区域内の建築物の制限を都市計画決定と同じ内容とします。

市道路線の廃止(川栗志茂橋線)と認定(川栗久能線)は、廃止しようとする川栗志茂橋線の終点を富里市久能へ変更し、新たに川栗久能線として市道認定するものです。

(注1)地区計画…住民の合意に基づいて、それぞれの地区の特性にふさわしいまちづくりを誘導するための計画



新たに市道認定された川栗久能線



委員会審

空港対策特別委員会

成田空港のさらなる機能強化

●成田空港のさらなる機能強化の状況

平成29年12月の委員会以降、堀之内区^{ほりのうち}ほか4つの区と自治会で説明会を開催し、夜間飛行制限の緩和に関する厳しい意見のほか、交通渋滞の解消や地域振興策の推進、騒音測定局の設置などの要望がありました。また、成田空港圏自治体連絡協議会は、機能強化の実現に向け、夜間飛行制限緩和案の改善や騒音対策の拡充など、6項目からなる再要望書を取りまとめ、1月30日に森田千葉県知事へ、31日には石井国土交通大臣と夏目空港会社社長へ提出しました。3月3日には、成田空港騒音対策地域連絡協議会常任理事監事会が開催され、国、千葉県および空港会社から再要望書の回答の説明があり、プランに期待する声があ

る一方、谷間地域や騒特法防止地区にある集落も移転対象としてほしいなどの意見・要望がありました。

●その他

カーフェリーの弾力的運用の実施状況と検証結果、A滑走路北側誘導路の整備、航空機からの落下物事案についての報告がありました。

◆再要望書を提出

2月13日に空港会社を訪問し、夏目空港会社社長へ、「成田空港圏自治体連絡協議会からの再要望に対する真摯な対応」、「夜間飛行制限緩和案に関する協議の継続」、「地域振興策に対する支援協力」を求める再要望書を提出しました。

※成田国際空港株式会社を空港会社と表記しています。

新市場整備・輸出拠点化等調査特別委員会

12月定例会での設置以降、閉会中も精力的に調査活動を実施

委員会の開催、市場関係者との懇談会や要望活動を行い、3月定例会では補正予算を可決

●新市場の施設整備についての調査

【主な質疑】

(問)市場関係者との意見交換会はどの程度実施し、どう反映させたか。

(答)平成29年度は15回実施し、連絡を密にしている。事業者等の意向に沿い、青果棟を床高からフラットに変更し、水産棟にいけすを設置し、コールドチェーンを確保した。

【自由討議での発言】

自然エネルギーを積極的に取り入れて、雨水やごみの処理など、次世代のモデルとなる方法で取り組んでほしい。

●財政負担と輸出拠点化事業についての調査

【主な質疑】

(問)現市場の仲卸の方たちの、移転見通しは。

(答)6割近くが移転すると想定している。融資や利子補給などの支援策を検討し、アクセス向上に努め、不安なく移転できる体制を整えたい。

【自由討議での発言】

30年後の商取引や物流は予想できない。早いサイクルで勝負すべき。

●運営の手法、その他についての調査

【主な質疑】

(問)新市場で働く方々の通勤の足の確保は。

(答)市のコミュニティバスと千葉交通のバスに加え、成田国際空港株式会社に空港シャトルバスの運用を要望しており、今後も関係機関と検討を進めたい。

【自由討議での発言】

国や千葉県と連携し多くの支援や補助を受け、事業を成立させてほしい。

【3月定例会】

議案3件を可決し、1件の報告を受けました。

国と千葉県で、新生成田市場への補助分を含む平成29年度補正予算が成立したことを受け、新市場整備に関する予算計上を前倒しする補正予算を可決しました。今後、約23億円の補助金の活用が可能と見込まれています。

卸売市場の再整備について、既存物件の解体工事がほぼ完了しました。また、最適な事業手法の検討の議論を深めるとともに輸出拡大に向けた調査、研究を進めています。

◇その他の活動

1月19日には農林水産省を訪問して農林水産大臣と副大臣に、1月31日には千葉県庁を訪問して千葉県知事に、事業の円滑な推進に向けて、財政面を含めた多様な支援の要望をしました。また、1月22日に市場関係者と「新市場整備等に関する懇談会」を開催し、意見交換をしました。

査レポート

※本会議で委員会に付託された
主な議案と審査内容の概要お
よび報告された内容の一部を
要約して紹介します。



予算特別委員会

3月定例会では、平成30年度当初予算関係9議案を審査するための予算特別委員会(委員12人)を2月28日に設置し、3月12日から14日までの3日間にわたり審査を行いました。審査の結果、各議案を全て原案どおり可決しました。

委員長	雨宮 真吾	委員	荒川さくら	鳥海 直樹	会津 素子	飯島 照明
副委員長	一山 貴志		神崎 勝	福島 浩一	小山 昭	湯浅 雅明
			油田 清	宇都宮高明		

[主な討論]

●反対討論

平成30年度予算には、成田市の農業振興には役立つ見込みのない公設市場の新設を盛り込み、市場会計への繰り出しと大学医学部校舎への補助金が計上されている。公設卸売市場の輸出拠点化は、国家戦略特区の事業として進められてきた。国家戦略特区による事業は、政府の成長戦略として国の主導で進められ、大企業が活躍しやすい国にすることを目的とし、成田市民、大きく言えば国民の要求に応えてはいない。また、航空機騒音対策では、国、成田国際空港株式会社が再提示した案は空港全体で飛行機の飛ばない時間は4時間半にもかかわらず、成田市は誠意ある回答とし、四者協議会で受け入れる決定を下した。夜間飛行制限の緩和について、市民の暮らしを守る立場の市が騒音下住民に新たな負担を強いることになる。市民の暮らし、福祉を後回しにする一般会計予算に反対する。

●賛成討論

平成30年度予算は590億円、歳入全体の自主財源比率68.5%で、財源の確保を図り経費削減に努めながら、病児・病後児保育事業の拡充や骨髄移植ドナー支援事業など、市民のニーズを的確に反映した予算編成であると評価できる。東京オリンピック・パラリンピックを2年後に控え、アメリカ陸上チーム事前キャンプの受け入れ体制の整備、開催を契機としたインバウンドの増加への対策など、さまざまな取り組みが求められる。成田を訪れる方々、成田で暮らす住民にとって利用しやすい環境をつくるとともに、長期的な施策展開や地域社会のさらなる発展につなげ、また、東日本大震災を決して風化させず、今後予測される首都直下型地震をはじめ、大規模災害に備えるための防災・減災対策のさらなる充実を期待する。今後は、成田空港の機能強化、新生成田市場の移転整備、大学病院の建設など、重要な案件が山積している状況を踏まえ、現状の財政の健全性におごらず、一層の経費節減に努め、市民ニーズを的確に把握し、効率的、効果的に事業を推進することを期待し、予算に関する議案全てに賛成する。

▶平成30年度当初予算額総計 899億3,375万6千円

◇一般会計		590億円	
◇特別会計		309億3,375万6千円	
特別会計の内訳	国民健康保険	事業勘定	138億3,019万1千円
		施設勘定	1億5,588万5千円
	下水道事業	23億9,670万7千円	
	公設地方卸売市場	18億7,949万7千円	
	介護保険	73億6,405万4千円	
	農業集落排水事業	1億7,462万円	
	後期高齢者医療	10億7,081万5千円	
	簡易水道事業	4億8,054万1千円	
水道事業	35億8,144万6千円		

※簡易水道事業、水道事業は、収益的・資本的支出計



世界陸上北京大会の際のアメリカ代表チーム事前キャンプ

議案と審議結果一覧

議案番号	件名 (件名は一部省略しています)	議決結果	政友クラブ					豪政会				公明党		リベラル		新風成田		共産党		志政会		虹							
			神崎勝	雨宮真吾	湯浅雅明	小澤孝一	秋山忍	荒木博	村嶋照等	石渡孝春	宇都宮高明	海保貞夫	飯島照明	小山昭	神崎利一	上田信博	青野勝行	一山貴志	水上幸彦	大倉富重雄	海保茂喜	伊藤竹夫	油田清	鳥海直樹	星野慎太郎	鬼澤雅弘	荒川さくら	鶴澤治	福島浩一
◆議案																													
1	人権擁護委員の推薦(諸岡 由史子)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	人権擁護委員の推薦(椎名 武男)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	人権擁護委員の推薦(宮田 幸世)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	人権擁護委員の推薦(野村 豊)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	人権擁護委員の推薦(根本 欣治)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	成田市情報公開条例等の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	成田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	成田市手数料条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	成田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	成田市重度認知症高齢者介護手当支給条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	成田市国民健康保険条例及び成田市国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	成田市後期高齢者医療に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	成田市介護保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	成田市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	成田市中小企業資金融資条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	成田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	成田市都市公園条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	市有財産の無償貸付け(学校法人国際医療福祉大学)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	市有財産の取得(支援車Ⅲ型)の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	市道路線の廃止(豊住工業団地2号線外1路線)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	市道路線の認定(豊住工業団地2号線外3路線)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	平成29年度成田市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	平成29年度成田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案番号	件名 (件名は一部省略しています)	議決結果	政友クラブ							豪政会				公明党		リベラル	新風成田	共産党	志政会	虹												
			神崎	雨宮	湯浅	小澤	秋山	荒木	村嶋	石渡	宇都宮	海保	飯島	小山	神崎	上田	青野	一山	水上	大倉	海保	伊藤	油田	鳥海	星野	鬼澤	荒川	鶴澤	福島	平良	会津	
◆議案																																
25	平成29年度成田市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○		
26	平成29年度成田市公設地方卸売市場特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
27	平成29年度成田市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
28	平成29年度成田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
29	平成29年度成田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
30	平成29年度成田市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
31	平成30年度成田市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
32	平成30年度成田市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	×	×	○	○	○	
33	平成30年度成田市下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
34	平成30年度成田市公設地方卸売市場特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	×	
35	平成30年度成田市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
36	平成30年度成田市農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
37	平成30年度成田市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	×	○	○	○	×	×	○	○	×	
38	平成30年度成田市簡易水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	平成30年度成田市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	市道路線の廃止(川栗志茂橋線)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
41	市道路線の認定(川栗久能線)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
42	平成29年度成田市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
43	平成29年度成田市公設地方卸売市場特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	退	退	×	
44	平成30年度成田市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
45	平成30年度成田市公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	退	退	×	
◆請願																																
1	「若い人も高齢者も安心できる年金制度」を国の責任で創設するための意見書に関する請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	-	○	×	○	×	○	○	×	×	○		
2	障害児者の「くらしの場」の拡充を求める請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	-	○	×	○	×	○	○	×	×	○		

※議長(伊藤竹夫)は採決に加わりません。※党派名の略称は次のとおり リベラル=リベラル成田、共産党=日本共産党、虹=虹と緑

代表質問

代表質問は、新年度に向けた「施政方針」などに対し、所属議員数3人以上の会派の代表が行う質問です。

骨髄ドナー支援を

1

公明党

一山貴志議員

問 これまで、骨髄ドナーの継続的確保に関する質問をし、市独自に命のボランティアを支援するドナー助成制度の創設を要望してきた。今回の施政方針で、この助成制度が4月から開始されるとのことだが、今後、制度の周知等を含め、どのような取り組みがされるのか。

骨髄の提供を断ることも多い。成田市は、千葉県制度を活用し、4月からドナーとその雇用主に対して助成金を交付し、骨髄を提供しやすい環境を整備し、移植およびドナー登録の推進を図る。今後は広報なりたやホームページへの掲載、献血協力者へのチラシの配布のほか千葉県や公益財団法人日本骨髄バンクのホームページへの掲載などにより周知を図っていく。

答 国内では、毎年新たに重い血液疾患を発症する方がいるが、骨髄などの移植を希望して実際に移植を受けられる方は、約60%にとどまる。移植に伴う通院や入院の期間の休業補償がないことや、ドナー休暇制度が整備されず、仕事が休めないなどの理由で、ドナーが

その他の質問

- ◆環境対策
- ◆地域で子どもを育む体制づくり
- ◆持続可能な地域公共交通ネットワーク



2 喫緊の課題であるごみ減量化対策は

問 新清掃工場建設時の想定より、ごみは増加し、リサイクル率は減少した。大きな原因として、全体の35%を占める事業系ごみがあり、空港関連の事業所に加え、医学部設置と市場の再整備でさらに増えると予測される。近隣市町村よりも搬入料金が安いこと、他自治体のごみが搬入される恐れもあることから、早急に対策を図るべきではないか。

との説明をしている。また、排出方法について現地を確認しながら意見交換し、他社の優れた取り組みなども紹介している。今後も、継続的に事業所に対して働きかけたい。また、清掃工場では展開検査を実施し、混入状況を確認し指導していく。平成30年度は、プラスチック製容器包装およびペットボトルの選別後の残さ物や枝木の資源化を実施し、1,500トンほどの減量化および資源化を見込んでいる。

答 事業系一般廃棄物の排出量上位200社に対して、計画書の提出を求め、ごみの減量化と資源化を指導したり、事業所への説明会で、ごみの減量が企業のイメージアップになる

その他の質問

- ◆中長期的な財政の健全性は
- ◆オンデマンド交通実証実験はいつまで続くのか
- ◆国民健康保険制度の広域化による市民への影響は

リベラル成田
油田清議員



ひとり親世帯への支援を

3

新風成田

星野慎太郎議員

問 子どもの貧困の多くは、ひとり親世帯にあり、そのひとり親世帯における貧困率は、依然として過半数を超えている。そこで、成田市における子どもの貧困への取り組みは。また、子どもの貧困対策に、教育・福祉・子育て等を一元的に組み合わせ、特化した部署を設けるなどの対応が考えられるが、見解を伺う。

る。現時点で子どもの貧困対策に特化した部署を設ける計画はないが、各部署が相談窓口となり連携することで、相談者に適した支援を行っていく。



答 平成28年度に子どもの貧困対策に係る連絡会議を設置し、子どもの学習支援としてのスマイルスクール^(注2)やひとり親家庭への自立支援制度、市営住宅の入居手続きなど、各部署で行っている支援の情報共有を図っている^(注2)スマイルスクール…毎月2回、中学生等を対象に学習の場を提供する事業。学校の宿題や受験勉強などに参加者が自習方式で取り組み、学生ボランティア等の講師が支援する。

その他の質問

- ◆空き家バンク設立
- ◆運転免許証返納後の高齢者への待遇
- ◆学校給食親子方式化の共同調理場

新しいまちづくりのため成田ニュータウンの再整備を

4

問 成田市立地適正化計画の中で、市の活力を維持するため、空港機能拡充に伴い増加する空港内従業員等に、就業の場だけではなく居住の場としても選ばれるまちづくりを進める必要があると、今後の市街地の都市機能強化の方向が示されている。そこで、約500haの市街地を有し、事業開始から50年となる成田ニュータウンの再整備による新しいまちづくりを提案するが、まずは、UR^(注3)団地の活用についてUR都市機構との協議を進めるべきではないか。

の住宅地の整備や建て替えを進める場合は、地域の特性に応じた用途地域の見直しや地区計画の活用などにより、新たな都市基盤の有効活用を推進するとしている。UR都市機構では、全国に立地するUR団地ごとの再整備の計画を策定中のため、まちづくりの方針について、情報の共有を図りたい。

政友クラブ
宇都宮高明 議員



答 成田市立地適正化計画では、公共施設の移設や統廃合による空き地の活用、一団

(注3)UR…都市再生機構。大都市や地方中心都市における市街地の整備改善や賃貸住宅の供給支援、UR賃貸住宅(旧公団住宅)の管理を主な目的とした、国土交通省所管の中期目標管理法人である独立行政法人。

その他の質問

- ◆現総合計画終了時までの財政計画の方針と具体的な数値目標
- ◆国主導での都心直結線の新設
- ◆教職員の負担軽減に向けた取り組みの推進状況

5 成田空港のさらなる機能強化と騒音対策

問 成田空港の発展が地域の発展に直結するという考えの上で空港の機能強化を推進するためには、騒音下住民の理解を得ることが最優先される。成田空港の機能強化と騒音対策について見解を伺う。

答 平成29年6月の四者協議会以降の住民説明会では、見直し案を評価する意見がある一方、深夜早朝の騒音への不安の声や、具体的な地域振興策が不可欠とする意見が寄せられた。そこで、成田空港圏自治体連絡協議会では、再要望書を国、成田国際空港株式会社、千葉県へ提出したところ、飛行

経路下における静穏時間を7時間にまで拡大することなどが提案されたほか、成田空港周辺の地域づくりに関する基本プランなどが示された。騒音地域住民の声を真摯に検討した誠意ある回答と受け止めている。この再見直し案については、関係市町が議会や関係団体などへ説明を行っている段階であり、引き続き要望内容の実現と機能強化に伴う諸課題の解決に向け、最大限の努力をしていく。

その他の質問

- ◆平成30年度予算編成
- ◆卸売市場の移転再整備事業
- ◆医学部の開学と付属病院の開院

豪政会
上田信博 議員



個人質問

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。

少人数学級の実現と教員の多忙化対策を

6

問 千葉県の調査結果では、過労死ラインを超える教員の割合は、小学校で35%、中学校で65.9%である。OECD^(注4)の調査によると、先進国の中でも日本の教員は抱える生徒数が多く長時間労働になっている。一方で、日本の受験中心の高度に競争的な教育は、国連からは是正を勧告されている。教員の多忙化の根本的な解決や子どもたち一人一人の成長には、教員定数の抜本的な改善と早急な少人数学級の実現が不可欠だ。市として勤務時間の把握、部活動の休養日設定やサポート教員の配置の充実を行うと同時に、教員定数増と少人数学級の実現は国および千葉県に要望してほしいが、見解は。

答 子どもたち一人一人に寄り添った、より充実した教育活動を実施していくためには、教職員の定数の改善は必要であると考えており、これまで国、千葉県に対して要望してきたが、引き続き要望していきたい。

荒川さくら 議員



その他の質問

- ◆母子手当や生活扶助費など、生活保護の切り下げについて
- ◆生活保護の利用は恥ずかしいことなく、「憲法に保障された権利」ということの周知
- ◆市民に重い負担、介護保険料の引き上げ

(注4)OECD…経済協力開発機構。ヨーロッパ諸国を中心に日・米を含め35ヶ国の先進国が加盟する国際機関。国際マクロ経済動向、貿易、開発援助に加え、持続可能な開発、ガバナンスの分野についても分析・検討を行う。

7 騒音下住民の移転対策を

海保貞夫
議員



問 飛行時間を2時間延長しようという政策が浮かんでいる。騒音下に住んでいない方々は、騒音下住民の実生活を理解していないと思う。現在でも航空機騒音に悩んでいる人々が大勢いることから、騒音対策と騒音下住民の移転対策を最優先にしなければならないのではないか。

答 平成29年6月に四者協議会が開催され、成田空港のさらなる機能強化に関する見直し案が示された。千葉県からは騒特法に基づく地区設定の基本的な考え方が示され、移転対策区域となる防止特別地区

は、集落の一体性に配慮して、これまでの組・班単位から、より大きな区等を単位とし、地域の実情に応じて地区設定の範囲を拡大することが提案されている。今回の提案に対し、集落分断の解消が図られることを評価する声がある一方で、移転対策区域や内窓設置区域から外れる世帯があり、新たな分断が生じない取り扱いの要望がある。集落のほとんどが移転対象となる区などに残される住民への対応は、引き続き関係機関と連携し、検討していく。

8 若者の市政参画を

会津素子
議員



問 愛知県新城市^{しんしろし}では、2015年に若者議会条例に基づき、新城市の諮問機関となる「若者議会」が設置された。16歳から29歳の若者が、年間1,000万円の予算提案権を持ち、予算の使い道を若者が考え、政策立案している。市長への答申、市議会の承認を得れば市の事業として実施される。若者のための政策だけでなく、子どもやお年寄りが暮らしやすいまちにするために、議員や市職員、そして地域住民とも熟議^{じゅくぎ}しており、また若者の投票率も上がったと伺った。このような取り組みを参考にしてほしいが、見解を伺う。

答 これからのまちづくりを進めていく上では、若い次世代を担う成田市民が、市政に興味をもってもらい、参画することはとても重要なことだと認識している。若者の意見を、さまざまな形で市政に反映させていきたいと考えている。



新城市若者議会の活動

9 吹奏楽部の楽器購入プロセスは

鳥海直樹
議員



問 成田市内には創立30年以上の中学校が増え、学校施設の老朽化と同時に、吹奏楽部の楽器備品も老朽化している。修理やメンテナンスをしても楽器としての機能が働かず、生徒は音が出しづらく、音程も合わせられない、吹きづらい楽器を使用しているのが現状である。吹奏楽部の楽器は単価が高いが、このような老朽化した高額な楽器の買い替えに関し、各学校での購入プロセスは。

答 老朽化した楽器の更新や特に高額な楽器の買い替えは、全ての楽器を1度で更新することは困難なことから、計画的な買い替えが進むよう、各学校で優先順位をつけ対応している。また、破損による買い替えなどの突発的な場合は、学校と協議しながら柔軟に対応している。



その他の質問

- ◆新生成田市場建設工事の市内事業者優先発注
- ◆小規模保育事業および民間事業者を活用した保育事業
- ◆中学校部活動備品購入事業の創設

10 農業振興地域整備計画の見直し



福島浩一 議員

問 農業振興の基本的かつ重要な計画書である農業振興地域整備計画が、平成29年度中に変更される予定だが、現在の進捗状況は。

答 農業振興地域整備計画は、今まで合併前の旧市町単位で策定した計画を運用していた。前回の見直しから10年以上経過し環境が大きく変化していることや、地域農業の振興を図るため農村の活性化に係る諸施策を推進すること、良好な自然環境の保全と農業振興地域内の秩序ある土地利用の観点から、これまでの農用地区域の維持を基本に除外・編入を行い、農用地の効率的な利用による農業振興の基本となる計画を整備した。当該計画は、1月15日に公告・縦覧を終了し、2月20日付けで千葉県知事の同意を得て、23日に公告した。



その他の質問

- ◆平成30年産以降の米の生産調整
- ◆特産物の輸出に向けた考え方
- ◆農業用排水路の整備状況と整備方針

11 農家の収入保険制度



大倉富重雄 議員

問 公明党は、農林水産業の振興のため、農家の収入保険制度の創設、農業の多面的機能支払制度の創設、生産緑地制度の改善などを提言し、実現に向け全力で取り組んできた。最近、市内の青年と会い、農業に対し積極的な取り組みをしているとの話を聞き、とても心強く感じ、また、こうした意欲のある市内の青年農業者が活躍できる環境整備を推進しなければならないとも感じた。そこで、農家の収入保険制度についての見解を伺う。

答 収入保険制度があれば、新しい作物の導入や販路の拡大などに取り組みやすくなる。実施主体である農業共済組合や農業協同組合、農業委員会などの関係組織と連携し、農家実行組合長会議などを通じて制度の周知に努めていく。



その他の質問

- ◆住宅確保要配慮者の現状・居住支援協議会の設立
- ◆「ねむの花に祈る」の活用・平和講演会の実施
- ◆プログラミング教育のためのICT整備計画

12 廃校舎の利活用における民間活用の推進を

青野勝行 議員



問 廃校の利用について、地域に一任するとしても、維持管理の費用捻出や発注方法、地域の状況などを踏まえて、中長期的なプランニングを考えて取り組むべきだと思う。民間事業に貸し出して、地域経済の活性化につながる事が理想だが、民間が借りやすい状況をつくり出すのも行政手腕だと思う。廃校利用の取り組みをどう考えるのか。

答 学校跡地の利活用は、学校跡地利用基本方針に基づき、全市的な行政需要への対応、地域ニーズを踏まえた活用、民間事業者などの活用、中長期的な視野に立った活用など、

総合的な見地から検討している。旧豊住^{とよすみ}中学校が、健康・体力づくりを支援する機能を持つ豊住ふれあい健康館として供用を開始し、また、旧中郷^{なかごう}小学校は、地域コミュニティの拠点施設として、平成31年度の供用開始を目指している。民間事業者などの活用としては、旧名木^{なまき}小学校で社会福祉法人が障害福祉サービス事業所を運営しており、施設と土地を無償貸し付けとする支援を行っている。今後も地域の活性化と学校跡地の有効活用を推進していく。

その他の質問

- ◆空港機能拡張と課題へ柔軟な対応を

13 飛行時間拡大案は撤回し、開港時の約束を守って

鵜澤 治 議員



問 成田空港開港時より、成田市と政府、また千葉県と政府、住民団体と政府の間に早朝・深夜飛行の約束・取り決めが存在し、今日まで地域住民の環境保全に配慮した運用がされている。しかし、今般の機能強化策の提示は、この約束がいとも簡単にほごにされる事態である。市長が今取り組むべきは、飛行時間拡大案の白紙撤回を求めて、その実現に全力を尽くすことではないか。

答 現行の夜間飛行制限は、開港当初からの国と地元との間で確認された重い約束だと認識しているが、開港から約40年が経過し、

空港との共生・共栄を図るなど、社会状況が大きく変化し、また、現在の運用時間では増大する訪日外国人のニーズに応えることや、LCCの拠点化をさらに進めることが困難なため、四者協議会で成田国際空港株式会社より緩和案が提案された。再要望書への回答で、内窓設置区域を谷間地域まで拡大し、飛行経路下の静穏時間を7時間まで拡大することが示されたことは、住民の声を真摯に検討した誠意ある回答と受けとめている。

その他の質問

◆市場移設整備、農産物輸出拠点化

小規模校のメリットとは 14

問 成田市には、小規模校^(注5)が小学校で7校、中学校で5校あるが、小規模校としてのメリットをどのように認識しているか。また、小規模特認校制度^(注6)を導入してはどうか見解を伺う。

答 小規模校では、教職員が児童生徒の学校生活の状況を把握しやすくなり、きめ細かに支援できるため、学習面では個人に応じた指導がしやすく、生活面では児童生徒の行動や人間関係の変化に気付きやすい。また、必然的に学年を超えた活動が増えるため、上級生と下級生との結びつきが強まり、絆を深めやすくな

る。小規模特認校制度については、既に実施している市町村の状況も踏まえ、成田市における実情や、各学校の児童生徒数の推移を見守りながら調査研究したい。

その他の質問

◆通学路の整備を
◆市内の道路交通について



飯島 昭明 議員

15 国家戦略特区実現に向けた空港周辺まちづくりを

水上 幸彦 議員



問 新たな都市基盤整備、成田空港の機能強化や医療関連産業の集積などの考え方と、国家戦略特区、エアポート都市構想、医療学園都市構想、国道295号沿道と遠山地域の土地利用計画規制緩和、また、成田空港周辺の地域づくりに関する「基本プラン」^(注7)の考え方を伺う。

答 成田市都市計画マスタープランでは、大学病院を核とした医療関連産業の集積や都市基盤の整備を促進し、新生成田市場の整備、圏央道のインターチェンジ周辺での空港関連産業の集積や国道295号周辺でのにぎわいの拠点形成を図るとしている。空港および大学病院周

辺の医療関連産業の集積に向けて企業ニーズの把握に努め、新駅構想と連携させた新たな都市基盤整備に向けた調査に反映していく。また、空港周辺の地域づくりは、「基本プラン」を作成した千葉県と、まちづくりの計画や交通の動向を踏まえ、道路網の整備の検討を進めたい。



大学病院の建設現場

その他の質問

◆新地方公会計制度
◆交通弱者対策の今後の取り組み
◆行政サービスデジタル化

(注5) 小規模校…公立小・中学校の国庫負担事業認定申請の手引きによる学校規模の分類で、小学校で6～11学級、中学校で3～11学級の規模の学校。
(注6) 小規模特認校制度…少人数ならではのきめ細やかな指導や地域の特性を生かした活動など、特色ある教育を行う学校を小規模特認校とし、一定の条件のもと市内全域から入学を認める制度。

16 「うなりくん」 絵柄の住民票等証明書を期間限定で発行を

問 成田市の特別観光大使うなりくんが、ゆるキャラグランプリ2017で見事に優勝することができた。神奈川県川崎市では、「ドラえもん誕生100年前」記念事業として、期間限定でドラえもんなどの絵柄の透かしを入れた住民票などの証明書を発行していたが、成田市でも「うなりくん」の絵柄や透かし入り住民票などの証明書を期間限定で作成することができないか。

の証明書の作成は、成田市で発行したことがすぐ分かり、宣伝にもなるので、平成30年4月からの実施に向け準備を進めていく。



グランプリ受賞時のうなりくん

鬼澤雅弘 議員



答 現在、住民票などの証明書には、成田市の花あじさいがプリントされ、市章の透かしが入った改ざん防止用の着色用紙を使用している。議員ご提案の「うなりくん」の絵柄入り

その他の質問

- ◆いきいき百歳体操で佐倉市のように補助金を支給すべきでは
- ◆県道三里塚十字路の渋滞改善策で千葉県との協議と今後の対応は
- ◆四者協議会で騒音地域住民の意見は反映させているのか

公設地方卸売市場特別会計 17

問 公設地方卸売市場特別会計について、年度別事業費を見ると、国庫支出金がゼロだが、国からの支援は一切受けられないのか。また、県支出金について記載があるが、千葉県は何にに基づき財政的支援をするのか。さらに、新市場建設に係る経費については、これまで議会に対して説明、配付した資料が多くあるが、今回の第3次実施計画上の数値とは、整合性はとれているのか。

県を通じて交付されることから、財源内訳としては、国庫支出金ではなく、県支出金に区分され、千葉県は国からの補助金を財源として、成田市に助成を行う。また、数値については、原則として財源内訳や事業費は整合する。しかし、人件費は、実施計画では平成29年度当初予算をベースに積算したが、収支シミュレーションでは長期的な視点からの収支計画であることから直近数年間の平均値を採用したため、開設年度の2020年度の額には相違が生じている。

雨宮真吾 議員



答 年度別事業費に係る国庫支出金や県支出金については、今回の市場整備に係る国からの補助金である強い農業づくり交付金は、

その他の質問

- ◆NARITAみらいプラン実施計画

18 空港づくりは地域づくり、そもそも共生とは何か

問 共生という言葉が安易に、あるいは自分にとって好都合に使われているように私は思える。成田空港開港から40年間「空港づくりは地域づくり」という言葉を信じ、騒音下住民は空港の発展にこれまで協力してきたが、現状は、空港と成田市ばかりが発展し、騒音地域は取り残されるばかりだ。将来にわたる夢が描けない状況で、そもそも空港と地域の共生とは何か。

を活用して、空港周辺地域の均衡ある発展を促進するための施策が必要であり、行政だけではなく成田国際空港株式会社や騒音地域の方々と一緒に取り組んでいかなければならないと考えている。



海保茂喜 議員



答 成田空港の開港以来、成田市と空港周辺地域は、空港がもたらすさまざまな恩恵を享受して発展してきた。空港と地域との共生を実現するためには、空港の持つ可能性や活力

その他の質問

- ◆現成田市場の再整備としての新生成田市場は
- ◆学校教育の根幹である教育機能を守るためには

高校生との意見交換会を開催しました

平成28年度に引き続き2回目となる高校生との意見交換会を開催しました。今回の参加者は市内高校の在学生の皆さん25人、議会からは議員26人、合わせて51人と、大規模な開催となりました。議場でのOXクイズからスタートして、施設見学、フリーディスカッションという流れで行われ、意見交換は終始和やかな雰囲気で行われました。



成田市議会と高校生との意見交換会概要

1. 目的 18歳に選挙権が引き下げられ、政治や選挙が身近なものとなった高校生に、市議会に関心を持ってもらうようにしたい。合わせて、議会の側が高校生の意見を聞く機会を作り出したい。
2. 参加校 千葉県立成田国際高等学校、千葉県立成田北高等学校、千葉県立成田西陵高等学校、千葉県立下総高等学校、成田高等学校
3. 開催日 平成30年3月26日(月)午後2時～午後4時
4. 場所 成田市議会棟(議場・委員会室)

活発にディスカッション

お互いに初めは緊張の表情でしたが、投げかけられた質問に真剣に答える議員の態度に高校生も次第に引き込まれ、有意義な時間となりました。

成田をよくするためには？

公共施設の学習室を増やしてほしい

ごみ箱を増やしてほしい

街灯を増やしてほしい

選挙に行く？

若者の意見を反映してもらいたいから行く

SNS等で候補者や政治に対して発信してもらえれば関心を持つかも

選挙には毎回行きたい。責任をもって投票しないとイケないと思う

市議会や議員に期待することは？

自分の身近に居てくれて思っていることを言える議員

住んでいる地域で困っている人のために働ける議員

人の意見に流されないで、自分の意見をきちんと持っている人



議員へのメッセージ

意見交換会終了後に高校生から議員に向けてのメッセージをもらいました。とてもうれしい言葉をもらい議員一同気持ちを新たにしました。

- これからはもっと政治が身近なものに感じられるかなと思いました。
- より一層政治を学びたいと思いました。
- 皆さん優しく話を聞いてくださってほっとしました。
- 議会へのイメージががらっと変わる、とても楽しい時間でした。
- 議会風景のビデオ学習を学校で行えるようになることを祈っています。
- 成田市をより活気づけられるように応援しています!!笑
- 成田のため市民のため、議員を目指したころ、なった時の思いを忘れずに頑張ってください。
- 本当にありがとうございました！来てすごく良かったし、楽しかったです。いろんなことを知れて議会に興味をもてました。人生の中でも良い時間になりました。今日を機にもっといろんなこと、自分が思っていることを実行して、行動してみたいと思いました。議員さんと話せて本当に良かったです!!



詳しくは市議会ホームページへ

平成29年度の行政視察

各委員会等では、他の自治体等の先進的な施策や取り組みを調査するため行政視察を実施しました。行政視察報告書は、市議会ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

総務常任委員会 (11月16日～17日)

札幌市：札幌MICE総合戦略
千歳市：防災学習交流センター

教育民生常任委員会 (11月16日～17日)

名古屋市：子ども食堂推進事業、あい子ども食堂ネットワーク
大府市：ウェルネスバレー構想、認知症予防事業

経済環境常任委員会 (7月25日～27日)

北九州市：「北九州市環境ミュージアム」環境学習施設機能
佐賀市：「佐賀市エコプラザ」ごみ減量啓発活動、環境学習施設機能
福岡市：「ベジフルスタジアム」物流機能、食の安心・安全

建設水道常任委員会 (11月9日～10日)

芦屋市：無電柱化の取り組み
高槻市：総合雨水対策アクションプラン

空港対策特別委員会 (2月7日～9日)

(台湾)
桃園市／桃園国際空港／高雄国際空港
：市と空港の連携及び地域振興策、空港間競争における展望と課題、MRT開通の影響、航空機騒音対策

議会運営委員会 (1月15日～17日)

宝塚市／可児市／岩倉市：議会運営

海外行政視察団 (10月12日～19日)

(アメリカ合衆国)
ポートランド市：5年連続全米No.1空港
持続可能なまちづくり
サンブルーノ市：都市開発と治安確保の取り組み
パロアルト市：高齢者福祉と生涯学習・社会活動
サクラメント市：エネルギー政策



総務常任委員会



教育民生常任委員会



経済環境常任委員会



建設水道常任委員会

コーヒータイム



成田市議会では、高校生に市議会に関心を持ってもらい、また、議会の側も若者の意見を聞く機会をつくることを目的として、昨年に続き2回目の高校生との意見交換会を開催しました。

今回は議員26名、市内5校の生徒さん25名が出席し、初めは緊張した様子の生徒さんでしたが次第に緊張がほぐれ、〇×クイズや議会棟の各部屋の見学、グループディスカッションを行い若者の政治参加についての意見が述べられ、活発な議論が交わされました。

広報広聴委員会としては「高校生との意見交換会」や「議会報告会」の開催を通し議会の活動や情報を広く発信し、より市民に開かれた議会を目指してまいります。

広報広聴委員 一山貴志

6月定例会は、**6月1日(金)** 開会予定です。

「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町760
TEL 0476 (20) 1570
FAX 0476 (24) 0336

成田市議会

検索